

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 令和5年度第2回会議
開催日時	令和5年10月19日（木）午後5時30分から7時30分まで
開催場所	田無第二庁舎4階会議室2
出席者	委員：鈴木委員、都築委員、石井委員、廣瀬委員、多々良委員、漆原委員 事務局：木村教育長、吉田課長、森主係長、亀田主事（学芸員）、川野主任、沼上文化財保護専門員
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長挨拶 3 委嘱状の交付 4 審議会委員の自己紹介及び職員紹介 5 会長及び副会長の選出 6 文化財保護審議会の公開について 7 協議事項 (1) 西東京市文化財保護審議会の予定について (2) 西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について (3) 第2期西東京市文化財保存・活用計画策定状況について 8 報告事項 (1) 下野谷遺跡の保存・活用について (2) 文化財事業実施報告（埋蔵文化財、その他の文化財事業等） 9 その他 10 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市文化財保護審議会委員名簿 資料2 西東京市文化財保護審議会条例 資料3 西東京市市民参加条例 資料4 西東京市市民参加条例施行規則 資料5 西東京市文化財保護審議会傍聴要領 資料6 西東京市文化財保護審議会の予定について 資料7 西東京市文化財保存・活用計画 取組状況 資料8 第2期西東京市文化財保存・活用計画 策定状況 資料9 下野谷遺跡の保存活用について 資料10 埋蔵文化財調査一覧・地点 資料11 文化財事業一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	

1 開会

- 吉田課長：時間になったので開始する。
本日は新任期での初めての開催となるため、会長選出までの間、私が司会を務めさせていただく。
初めに、本日の配布資料確認と出欠報告を事務局から願います。
- 事務局：長崎委員と行田委員から欠席の連絡をいただいている。

2 教育長挨拶

- 事務局：ただいまより令和5年度第2回定例会を始める。
- 教育長：（挨拶）

3 委嘱状の交付

- 事務局：教育長より委嘱状の交付を行う。
- 教育長：委嘱状交付

4 審議会委員の自己紹介及び職員紹介

- 吉田課長：前期から委員及び事務局に異動がなかったため、私から各委員を紹介させていただきます。
（委員紹介の後、事務局紹介）

5 会長及び副会長の選出

- 西東京市文化財保護審議会条例第6条に基づき、審議会の会長を鈴木委員に、副会長を都築委員に決定した。

6 文化財保護審議会の公開について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料3に沿って説明）
事務局としては、従前同様、委員名を記載した上で、発言者の発言内容ごとの要点記録とし、会議録の作成にあたり、会議内容を録音したいがよろしいか。
- 委員：了承する。

（傍聴者入場）

7 協議事項

（1）西東京市文化財保護審議会の予定について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料6に沿って説明）
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 漆原委員：地域博物館は、下野谷遺跡に関するものが対象になるのか。
- 事務局：地域博物館は、西東京市の文化財全般を対象と考えている。下野谷遺跡に特化したものは、ガイドンス施設になるものと考えている。

- 鈴木会長：下野谷遺跡ガイダンス施設の記載がないが、どのような整理か。地域博物館の項目の中に含まれているのか。
- 事務局：下野谷遺跡ガイダンス施設は、一義的には下野谷遺跡整備指導委員会にて議論いただき、その後に本審議会にてご審議いただくものと考え、資料6への記載は見送った。資料6は、ほかにも重点課題が多数ある中で、審議会の任期の2年間で形を作り上げたいものをあげさせていただいた。資料の性質上、項目としてあげていないだけで、重点検討項目としての認識は持っている。
- 石井委員：任期の2年間で形を作り上げたいものを載せているなら、ガイダンス施設は載せた方がよいのではないか。説明の中でも、地域博物館の前にガイダンス施設をとという考えが聞かれたため、資料の性質にも馴染むものだ。
- 事務局：ご指摘のとおりのため、追記する形で修正させていただく。
- 廣瀬委員：これまでの審議でも市史の編さんに関する発言が多々あったが、それがこの資料に掲載されていないのは、重点事項ではないという整理か。
- 事務局：市史編さんについては、資料6にも記載のある「第2期西東京市文化財保存・活用計画」の中で検討することとしている。後ほど資料8でもご説明するが、市史編さん準備室の設置など、必要な作業を特定し、着実に取り組んでまいりたい。

(2) 西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：大変申し訳ないが、資料の精査中につき、後日、委員の先生方へ資料を送付する。当該資料に現行の文化財保存・活用計画への庁内各課の取り組みをまとめるので、それに対するコメントを頂戴したい。

(3) 第2期西東京市文化財保存・活用計画策定状況について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料8に沿って説明)
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 鈴木会長：地域計画の「地域」は、どのような範囲になるのか。
- 事務局：地域計画は区市町村が策定することとなっているため、基本的には西東京市全域が対象範囲と考えている。
- 鈴木会長：文化庁のウェブサイトを見ると、「区域」という捉え方もあるようだが、何か検討はしているか。
- 事務局：区域については、自由度の高い部分で、例えば、白子川流域だとか天神社周辺という設定もできるもの。現行計画でも、「関連文化財群」という言葉で同趣旨を用いている。次期計画においてもよい区切り方があればひ先生方のご知見を賜りたい。
- 事務局：資料8-2は、計画の策定懇談会資料をベースにしたもので、現行計画の8年間の振り返りを行い、評価できる事項と課題事項とをあげている。ここに記載されたもの以外で、さらに書くべき事項があるか伺いたい。

- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 廣瀬委員：課題は、下野谷遺跡以外の国史跡名勝が出てきていないこと、評価事項として愛称を策定したことをそれぞれ載せた方が良いと考える。
- 鈴木会長：載せ方が難しいかもしれないが、事務局の人員の問題は掲げておく必要がある。
- 多々良委員：人員の件は同意。社会教育課の事業は、次から次へと新しい課題が出てくるように感じられる。そのときに対応できるだけの人員が確保できていないとどの事業も途中で頓挫してしまう。
- 事務局：事務局としても同じ問題意識を持っており、学芸員の新規採用について市長部局と調整し、公募で採用試験を実施中。現任と少なくとも1年は並走する形でこれまでの取り組みが後退することのないようにしていきたいと考えている。この資料に課題としてどう載せられるかについては、検討したい。
- 都築副会長：現任がいるうちにこれまでの整備の報告書をまとめるのは必須の作業としていただきたい。
- 鈴木会長：登録文化財制度は、次回審議会で協議事項としてあげていただきたい。
- 事務局：承知した。
- 多々良委員：市民の参画を促すためにももっと基本的な事項を計画の中に盛り込んだ方がよいように思う。
- 鈴木会長：市民参画という点でいえば、古すぎるものばかりでなく、比較的新しいものも取り込んでおくべきである。例えば、ひばりが丘団地の一部を将来の制度を使って登録文化財としてみるのも一考。赤羽台団地でこのような取り組みを行った事例があるため、参照してみてはいかがか。
- 事務局：参考にさせていただく。
- 廣瀬委員：かつて市内にあり、今はなくなってしまったもの、具体的には企業の大工場などについても書いて残しておくべきだ。
- 漆原委員：2点コメントする。①軍需工場があった土地近辺では、航空機の墜落跡を市民と協働して調査する取り組みがある。西東京市には中島飛行機の軍需工場があったことから、こうした取り組みも市民参画を促すものとなるのではないか。
②板碑があるということは、当時、そこに武士がいたことにもなる。板碑そのものに年代が書いていなくとも、石の質などで時代を特定することができるようにもなっていることから、そうした研究を使いながら、明治時代の字図と中世に書かれた西東京市地域の物語とを照合しながら調査をしていくことで、現時点で取り組みが少ない中世への対応を強化できるのではないか。
- 廣瀬委員：今以上に古代以外への取り組みもうかがえる内容としてほしい。
- 石井委員：資料8-5で掲げている関連文化財群の要素の例を位置情報におとしこんでみることで、守っていくべきものがわかるのではないかと思う。

8 報告事項

(1) 下野谷遺跡の保存・活用について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料9に沿って説明）
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。

（質疑なし）

(2)文化財事業実施報告（埋蔵文化財、その他の文化財事業等）

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料10、11に沿って説明）
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 廣瀬委員：資料10の埋蔵文化財発掘調査について。緑町の立会調査では、何か出土したか。
- 事務局：発見には至らなかったが、土質を見ることができただけでも収穫と考えている。

9 その他

- 鈴木会長：それでは、全体を通して何かあるか。
- 事務局：次回は12月から1月の間で開催を予定している。
- 鈴木会長：以上をもって、令和5年度第2回会議を閉会する。